

株式会社エー・ピーホールディングス

2025年3月期 第3四半期

決算説明資料

2025. 2 .14

東証スタンダード市場


3175

食のあるべき姿を
追求する



1. 2025年3月期第3四半期 決算概要

2. 事業進捗のご報告



2025年3月期第3四半期決算概要



**1. 5期振りに
営業利益が黒字化**

**2. レストランが引き続き好調
営業利益 前期比135.8 %**

**3. 中食が過去最高益
営業利益 前期比181.4 %**

1. 2025年3月期第3四半期 決算ハイライト

売上高

15,848百万円

前期比 **102.0%**

国内既存店売上高 前期比 101.9%

営業利益

261百万円

前期差 +372百万円

経常利益

299百万円

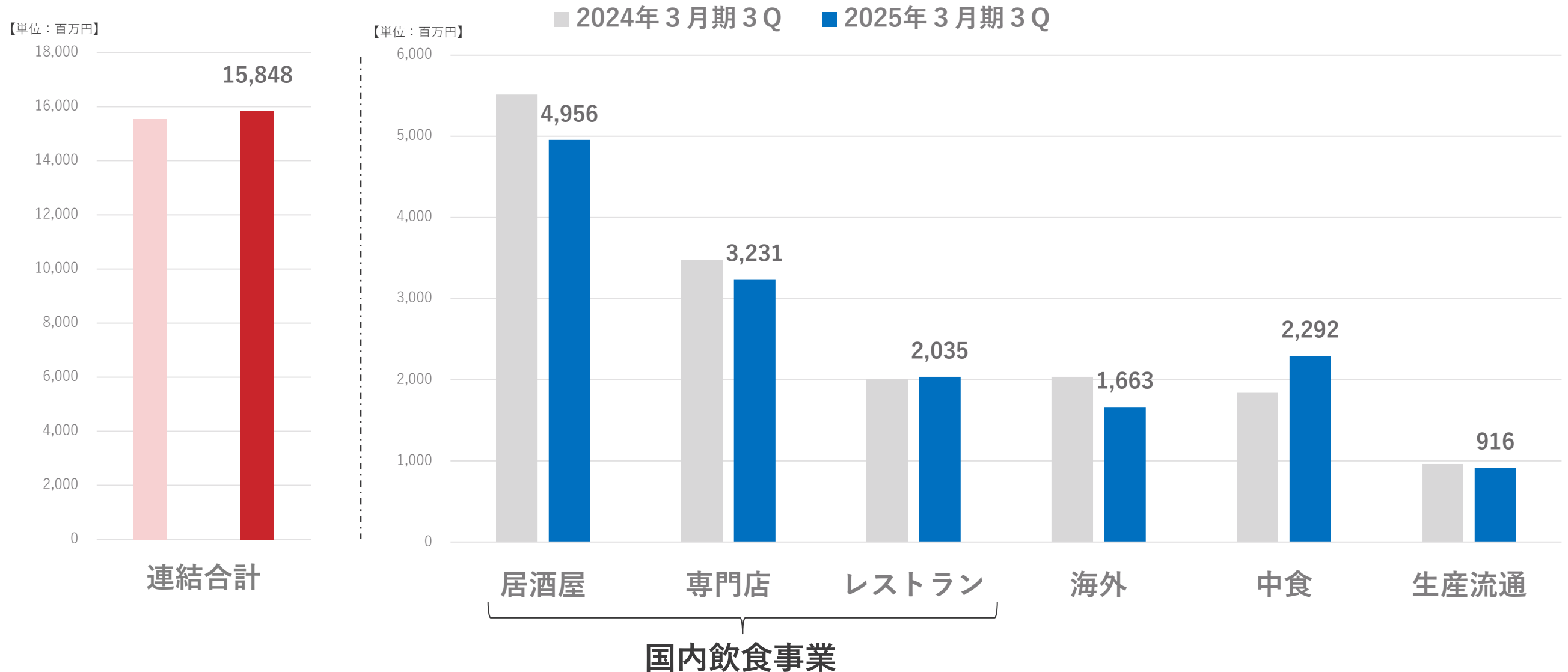
前期差 +403百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益

257百万円 前期差 +448百万円

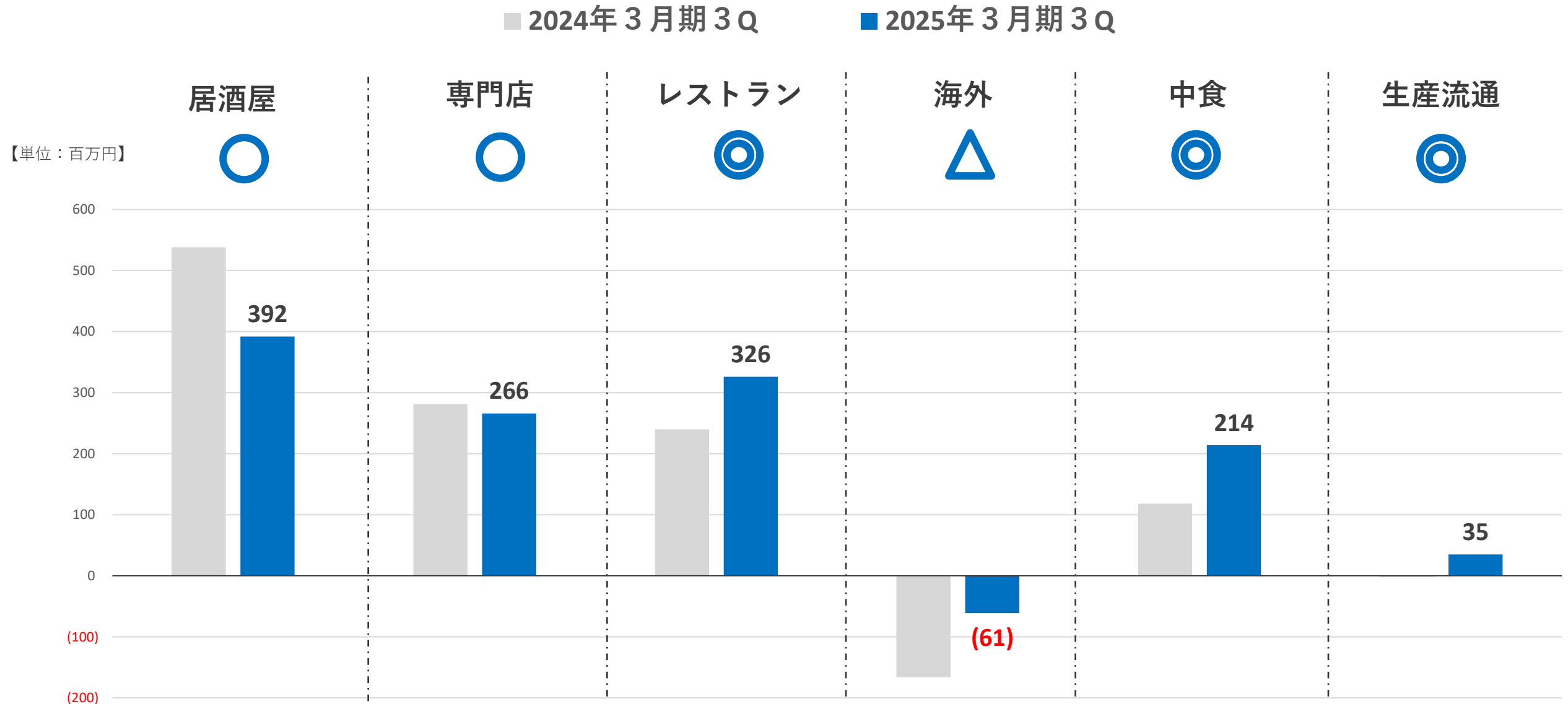
2. 売上高の前年比較

居酒屋は、九州塚田農場事業が12店舗撤退により減少するも、北海道塚田農場事業・炭火焼鳥塚田農場事業は堅調。
レストラン・中食は伸長傾向



3. 営業利益の前年比較

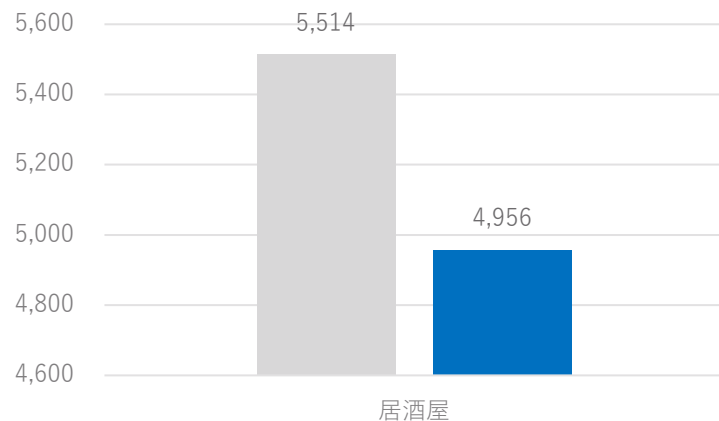
レストランは2Qに出店した店舗が好調により営業利益増加
中食は宅配弁当が過去最高益と好調に推移



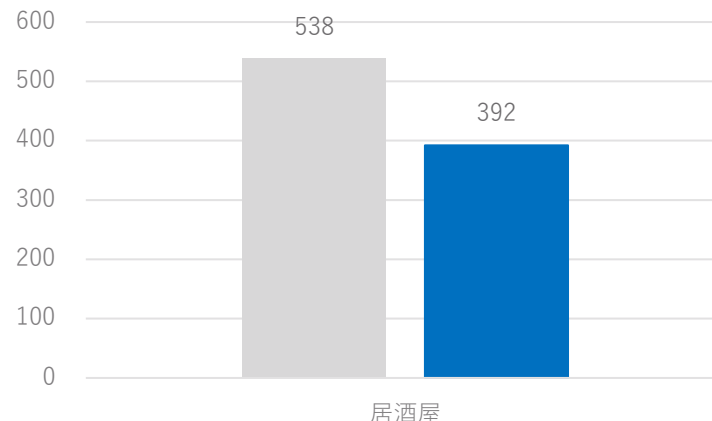
4. セグメント毎の売上高・営業利益の前年比較①

居酒屋セグメント

【単位：百万円】 【売上高】



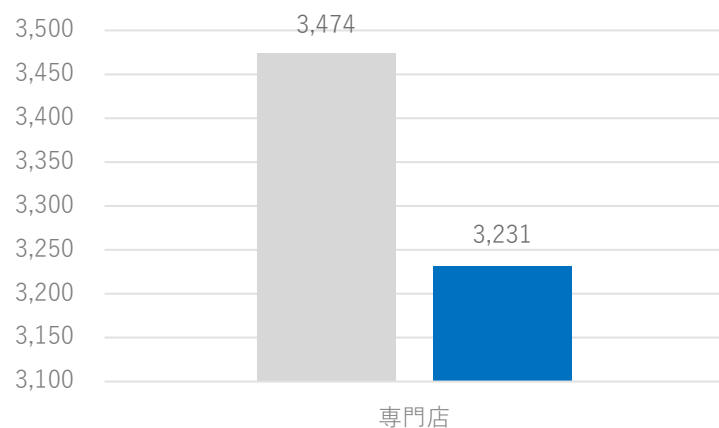
【営業利益】



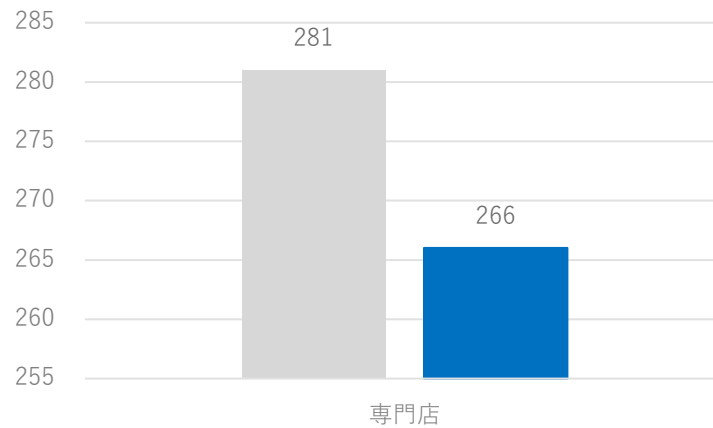
- ・ 前年同期間から12店舗の閉店を行った影響で、売上高は前期比10%減収、営業利益27.2%減益。
- ・ 北海道塚田農場事業、炭火焼鳥塚田農場事業は、前年比較で増益増収と堅調に推移。

専門店セグメント

【単位：百万円】 【売上高】



【営業利益】



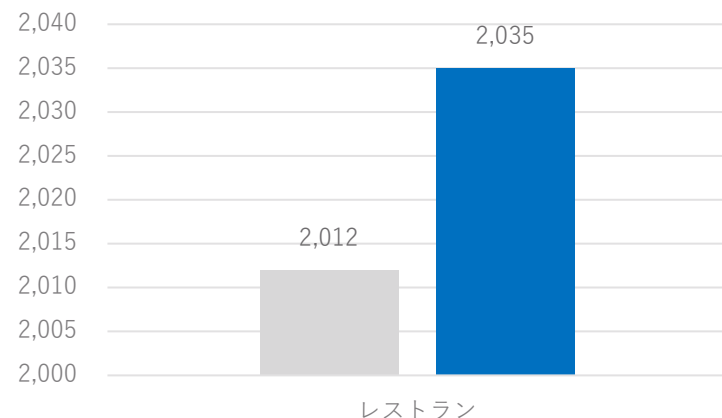
- ・ AP Re;US（魚事業）とAP Restory（焼鳥事業）の新店費用があり、営業利益は横ばい推移。

4. セグメント毎の売上高・営業利益の前年比較②

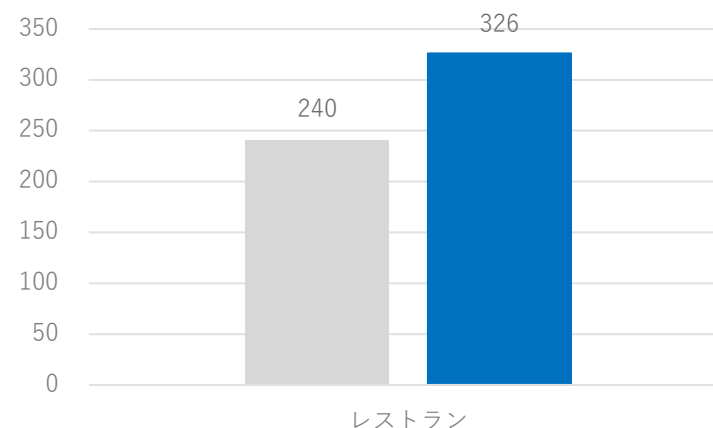
レストランセグメント

【単位：百万円】

【売上高】



【営業利益】

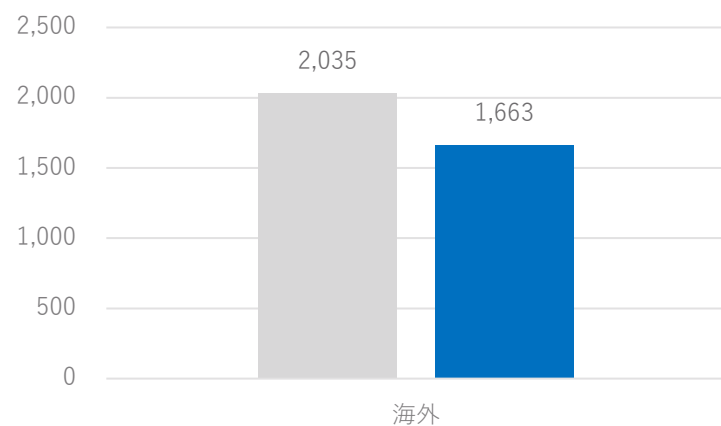


- ・ 今期4店舗の出店により売上高は増収。
- ・ AP Over Drive（中高級事業）が好調で、営業利益45%の大幅増益。

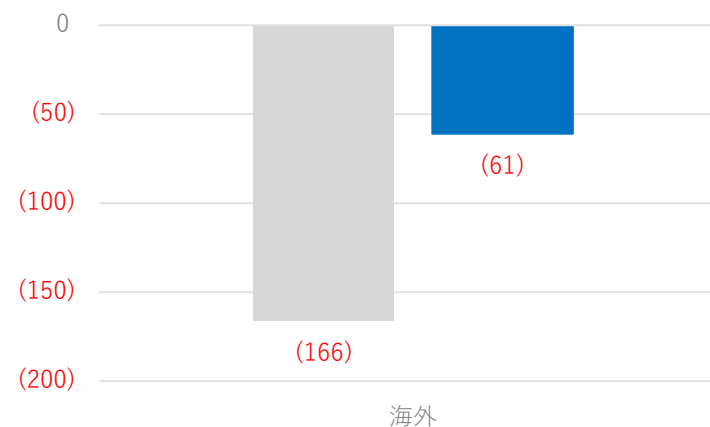
海外セグメント

【単位：百万円】

【売上高】



【営業利益】

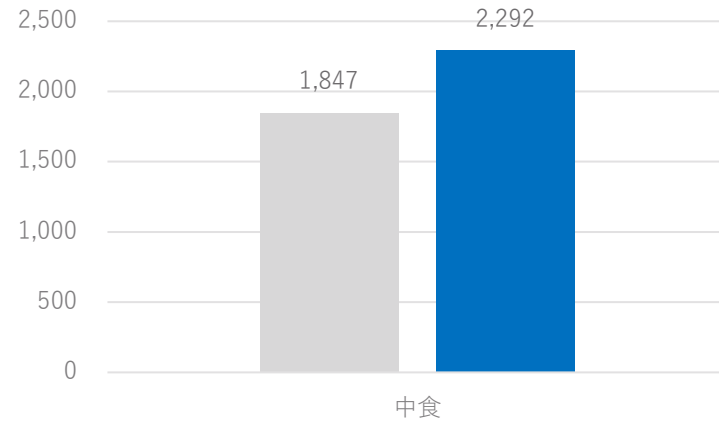


- ・ 今期2店舗の撤退により、売上高は減少。
- ・ 引き続きインドネシアは好調で、売上高前年対比118.2%と大きく伸長。香港・アメリカの赤字幅の圧縮を実現。

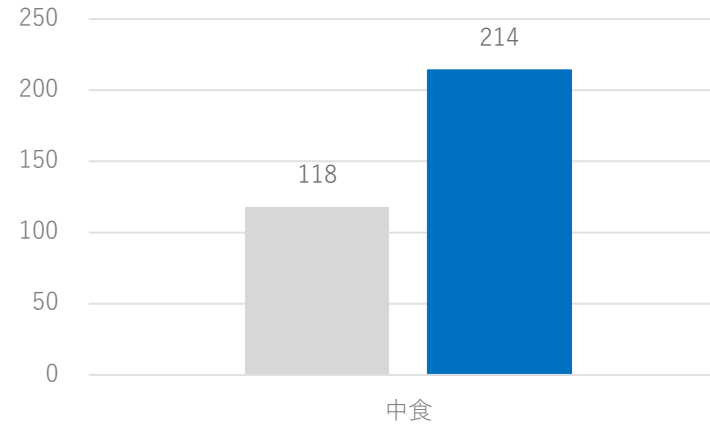
4. セグメント毎の売上高・営業利益の前年比較③

中食セグメント

【単位：百万円】 【売上高】



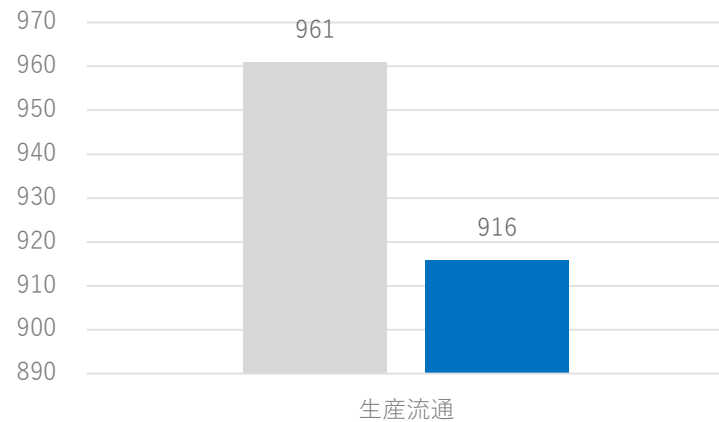
【営業利益】



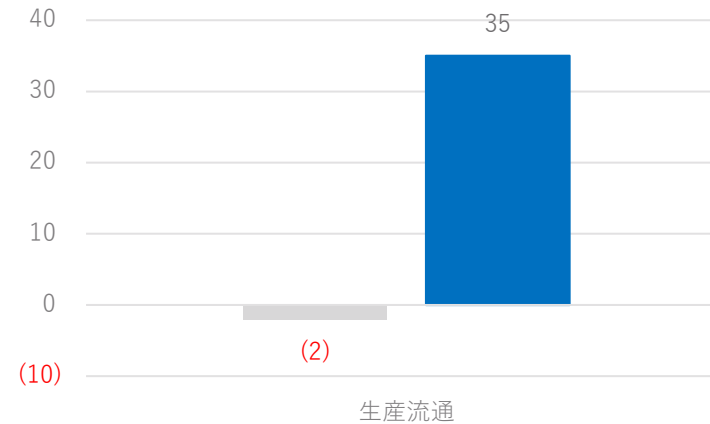
- 塚田農場プラスが好調で、過去最高売上高と過去最高利益を達成。
- 過去最高食数を生産した、宅配に加えて、駅ナカが大きく伸長。

生産流通セグメント

【単位：百万円】 【売上高】



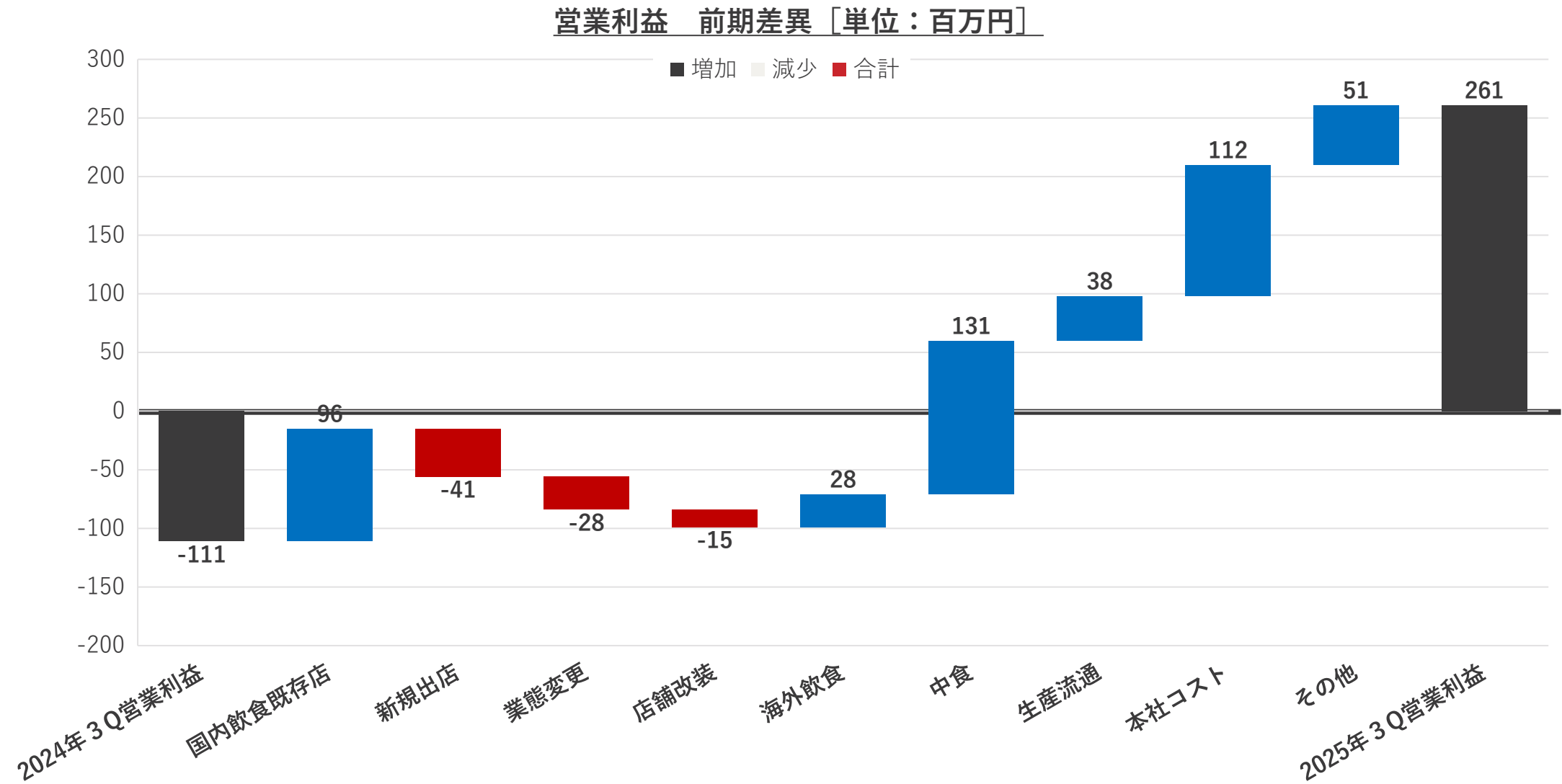
【営業利益】



- 居酒屋の売上高減少に伴い、減収するものの、外部販売比率向上により、5期振りの黒字化を達成。

5. 【事業別】 営業利益差異分析

出店等の一時費用があったが、国内既存店の伸長と本社コストの削減により、
372百万の営業利益改善



※連結調整項目は決算数値と異なりますが社内管理ベースでの調整です。

6. 【連結】損益計算書

(単位：百万円)	24. 3月期3Q		25. 3月期3Q	前期差
	下段	実績	実績	
	売上%	売上%	前期比%	
売上高	15,537	15,848	+311	
	-	-	102.0%	
売上総利益	10,105	10,141	+36	
	65.0%	64.0%	-1.0Pt	
販売費及び一般管理費	10,216	9,879	-337	
	65.8%	62.3%	-3.5Pt	
営業利益	-111	261	+372	
	-0.7%	1.6%	+2.3Pt	
経常利益	-104	299	+403	
	-0.7%	1.9%	+2.6Pt	
親会社株主に	-191	257	+448	
帰属する中間純利益	-1.2%	1.6%	+2.8Pt	

新店等も含めて国内飲食が好調
前年対比102.0%
中食は、前期比124.1%

原価率の高い中食のシェアが相対的に上昇

構造改革により固定費が大幅減少

7. 【連結】貸借対照表

(単位：百万円)	24年3月期	25年3月期3Q	前期差
流動資産	3,534	3,076	-458
（うち現預金）	1,649	942	-707
有形固定資産	2,862	3,000	138
無形固定資産	15	18	3
投資その他資産	1,863	2,003	140
繰延資産	0	0	0
資産合計	8,276	8,099	-177
流動負債	6,182	6,042	-140
（うち1年内有利子負債）	4,218	4,046	-172
固定負債	1,927	1,785	-142
（うち1年超有利子負債）	1,785	1,617	-168
負債合計	8,109	7,828	-281
株主資本	75	313	+238
その他包括利益累計額	27	-52	-79
新株予約権	8	8	0
非支配株主持分	54	1	-53
純資産合計	167	271	+104
負債・純資産合計	8,276	8,099	-177

借入金の返済、税金等の支払いにより、現金及び預金が707百万円減少。

当期純利益308百万増加に対して、為替換算調整勘定により-37百万円を計上。

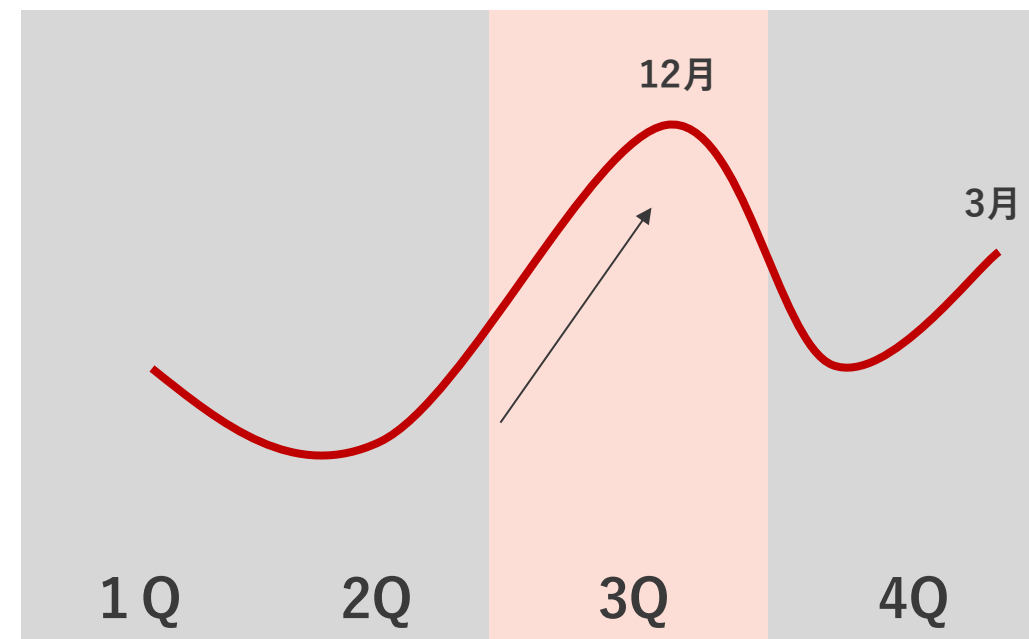
8. 2025年3月期_業績予想

年末の需要を獲得し当期純利益は業績予想を超過
業績予想については据え置き

<参考> 飲食業界の季節性イメージ

国内飲食店は、年末と3月期末の繁忙期に大きく需要が伸びる傾向にある。

[単位：百万円]	2025年3月期 業績予想	2025年3月期 3Q	達成率
売上高	20,000	15,848	79.2%
営業利益	400	261	65.2%
経常利益	300	299	99.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	257	128.5%



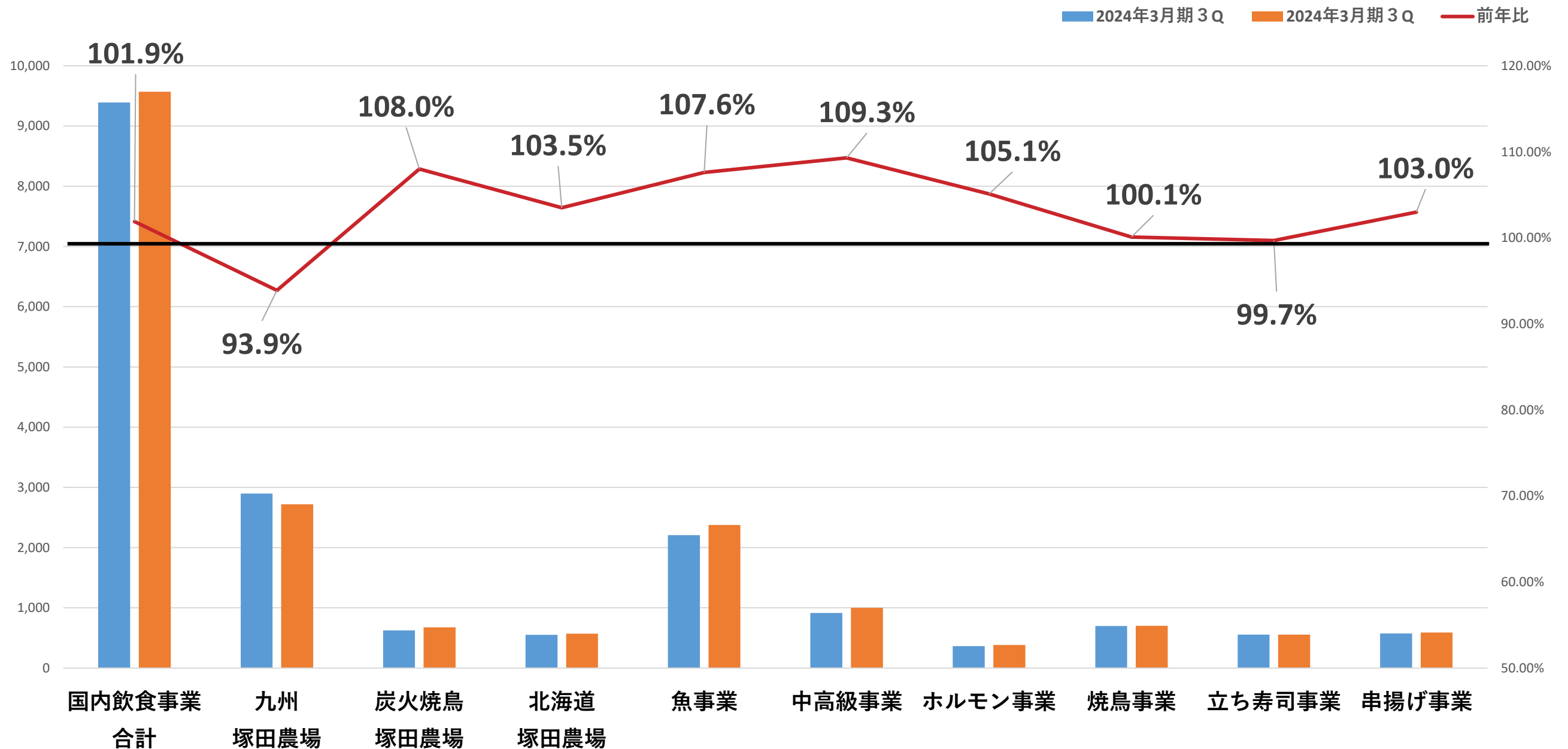
事業進捗のご報告



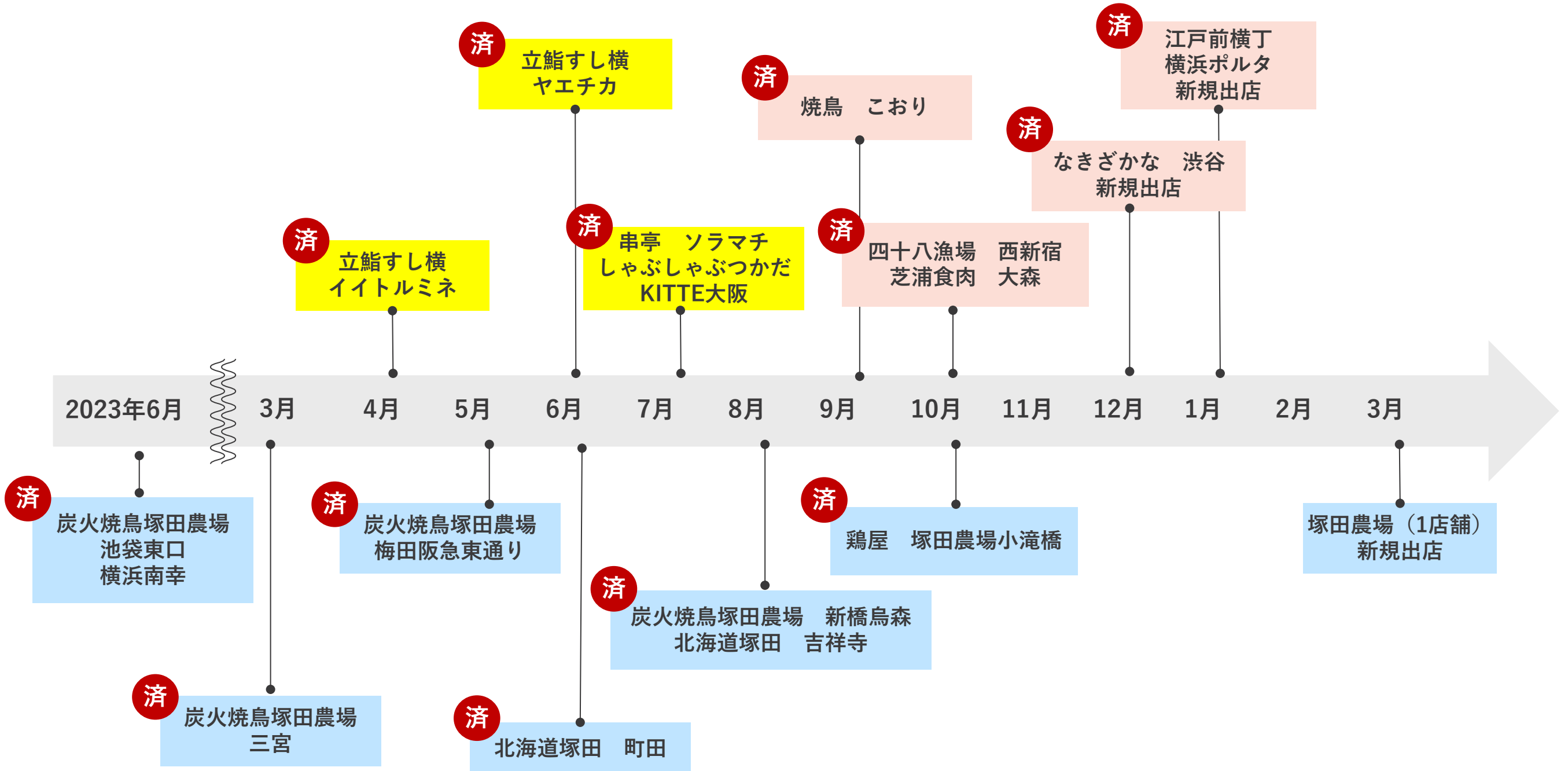
1. セグメント別売上シェアの推移

セグメント	24年期末 売上シェア	→ 25年3Q 売上シェア	事業内容
居酒屋	34.9% 66店舗	32.8% 65店舗	塚田農場をはじめとする、居酒屋事業とライセンス事業
<div style="background-color: #0070C0; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">売上 シェア増</div> 専門店	20.9% 47店舗	21.4% 49店舗	鮮魚、地鶏、ホルモンなどの素材を生かした専門店業態
<div style="background-color: #0070C0; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">売上 シェア増</div> レストラン	12.8% 21店舗	13.5% 25店舗	主に商業施設に出店し、ランチからディナーまで営業を行う業態
海外	13.7% 20店舗	11.0% 18店舗	シンガポール、アメリカ、香港、インドネシアにて美人鍋・ラーメン・高級業態を展開
<div style="background-color: #0070C0; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">売上 シェア増</div> 中食	11.7%	15.2%	弁当宅配やフードコートの運営、セントラルキッチンを扱う業態
生産流通	5.9%	6.1%	宮崎、鹿児島、北海道での地鶏の飼育・加工・販売を行う事業

2. 事業別既存店前年対比（第3四半期累計期間比較）



3. 2024年3月期～2025年3月期の投資時期



4. 新店オープン（1）_なきざかな渋谷

専門店

新宿・神楽坂で人気の魚介専門店が貝の魅力満載の貝専門店の渋谷にオープン

2024年12月1日
なきざかな 渋谷が新規オープン



5. 新店オープン（2）_江戸前横丁 横浜ポルタ

専門店

横浜駅東口直結横浜ポルタ レストラン街に誕生！
寿司・天ぷら・鰻の江戸三大文化を粋に味わう本格横丁

2025年1月20日
江戸前横丁 横浜ポルタ店が新規オープン

立 館
すし横
STANDING SUSHI



天ぷら
ばく天
BAKUTEN



うな重 せいろ蒸し
ろ鰻
ROMAN



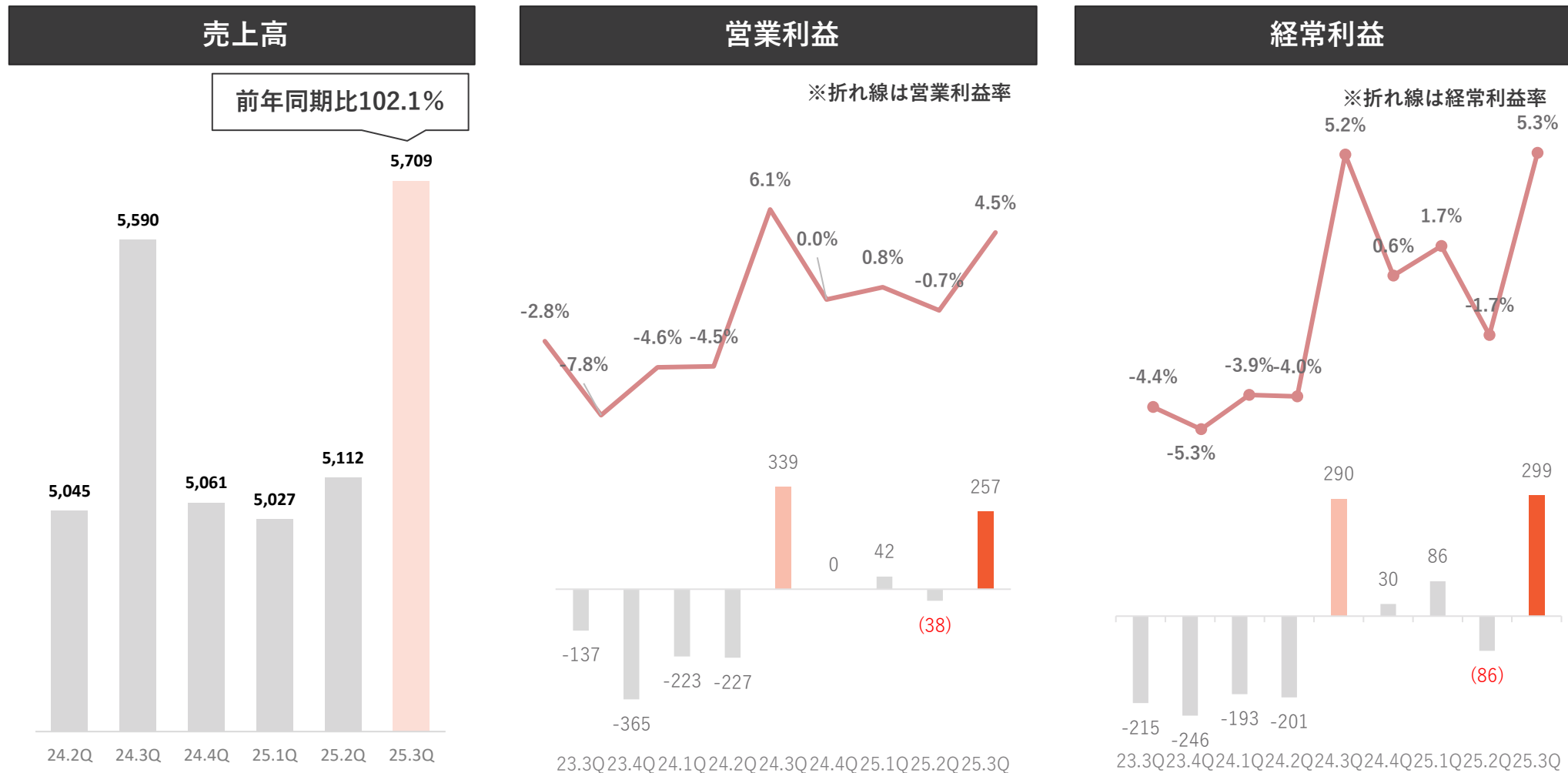
Appendix



1. 2025年3月期3Q現在の四半期毎の業績推移

新店等の一時費用により営業利益が減少するも、
経常利益は前年同期比+9百万円

四半期毎の売上高・営業利益・経常利益推移 [単位：百万円]



2. ファイナンスの進捗状況（ターゲット・イシュー・プログラムの行使状況）

2023年5月29日発表 第5回新株予約権行使状況（総数2,500個）			
（1）新株予約権の名称	第5回新株予約権		
（2）行使価額修正の通知日	2023年12月27日		
（3）行使価額の修正日	2023年12月29日		
（4）修正前行使価額	1,200円		
（5）修正後行使価額	889円		
（6）修正事由	本新株予約権の発行要項第10項に規定された行使価額の修正条項の適用によるものです。		
行使時期	株式数	行使個数	払込金額
2024年1月	27,000	270	24,003,000
2024年2月	48,000	480	42,672,000
2024年3月	42,000	420	37,338,000
第5回 総計	117,000	1,170	104,013,000
今後予定している新株予約権			

◆ 第6回新株予約権：2,000個

※2025年2月14日現在で行使停止中。詳細は2024年6月24日に開示いたしました「第三者割当により発行された第5回及び第6回新株予約権の停止期間の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 店舗数の推移

2025年3月期第3四半期は、
レストラン・専門店事業を中心に6店舗の新規出店を行い、
業態変更を4店舗を実施

店舗状況					
	2024年3月末 店舗数	出店数	退店数	業態変更	2024年12月末 店舗数
国内直営	134	6	5	4	139
ライセンス	21	0	1	0	20
海外	20	0	2	0	18
全店合計	175	6	8	4	177

※本資料は、業態変更に伴う閉店も1カウントとして記載しております

4. 月次営業レポート

国内飲食店 対前年同月比推移

全店	2025年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
	売上高前年比 (%)	100.9	101.9	104.0	99.1	100.9	102.7	101.2	105.4	96.7					101.2
	客数前年比 (%)	95.3	98.8	102.2	96.7	98.3	104.9	101.8	107.1	98.3					100.2
	客単価前年比 (%)	107.3	104.8	103.1	103.9	103.1	98.4	99.9	99.6	98.0					101.8
既存店	2025年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
	売上高前年比 (%)	106.6	106.1	108.6	101.8	99.9	101.7	98.6	102.6	94.9					101.9
	客数前年比 (%)	101.3	102.0	105.0	97.3	95.8	102.6	97.4	103.0	95.8					99.8
	客単価前年比 (%)	106.7	105.5	104.5	106.1	105.4	100.2	102.0	101.2	99.3					103.2
	対象店舗数(店)	127	126	127	127	126	126	125	126	126					126

※決算確定前の参考値です。客数・客単価はランチを除いたディナーのみを対象としています。既存店は開店後13か月経過した店舗のみとしています。

店舗数の状況

区分	前期末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
国内	居酒屋	66	66	66	66	66	66	66	66	65				
	専門店	47	47	47	47	47	47	48	48	49				
	レストラン	21	22	22	23	25	25	25	25	25				
	小計	134	135	135	136	138	138	139	139	139				
海外	20	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
直営店合計	154	153	153	154	156	156	157	157	157	157				

A top-down view of various fresh ingredients including vegetables, fruits, seafood, and poultry on a wooden surface. The ingredients are arranged in a somewhat circular pattern around the center. Visible items include: a whole duck, several eggplants, green and yellow bell peppers, a scallop, a clam, an oyster, asparagus, onions, mushrooms, ginger, garlic, a bowl of chicken wings, a bowl of chicken pieces, a whole fish, a red fish, a yellow fish, a mackerel, a bowl of small yellow items (possibly potatoes or dumplings), tomatoes, lemons, a cucumber, a pumpkin, and green onions.

会社概要

1. 経営理念（1）



Misson：私たちの使命

食のあるべき姿を追求する

食とは本来、人生に欠かせないものであり、
生活の中の楽しみや人とのつながりを育んでくれるものです。
その本質が揺らぎ、変革が必要な場面に、
私たちエー・ピーホールディングスは果敢に挑みます。
私たちは、社会が抱える食の課題に先頭に立って挑み、
生産者、販売者、消費者の誰もが夢や希望を抱くことができる
「食のあるべき姿」を追求してまいります。



1. 経営理念（2）



Vision：私たちの目指す姿

FOOD CREATIVE FIRM



時代が求める「食のあるべき姿」を追求した先に、
私たちが実現したいのは、
誰もが食が持つ素晴らしい価値にふれ、新しい感動や発見を味わえる社会です。

これまで培ってきた産地ネットワークや商品開発など固有の経営資産は
全ブランド・全ビジネスで共有しながら、
地域やお客様ニーズに合わせた個性ある飲食ブランドやビジネスを多様に展開していきます。

変化への対応力や人材不足など、業界が抱える様々な課題を解消し、
食の未来を広げるフードクリエイター集団＜FOOD CREATIVE FIRM＞を私たちは目指します。

2. 当社の強み ～六次産業化モデル（1）

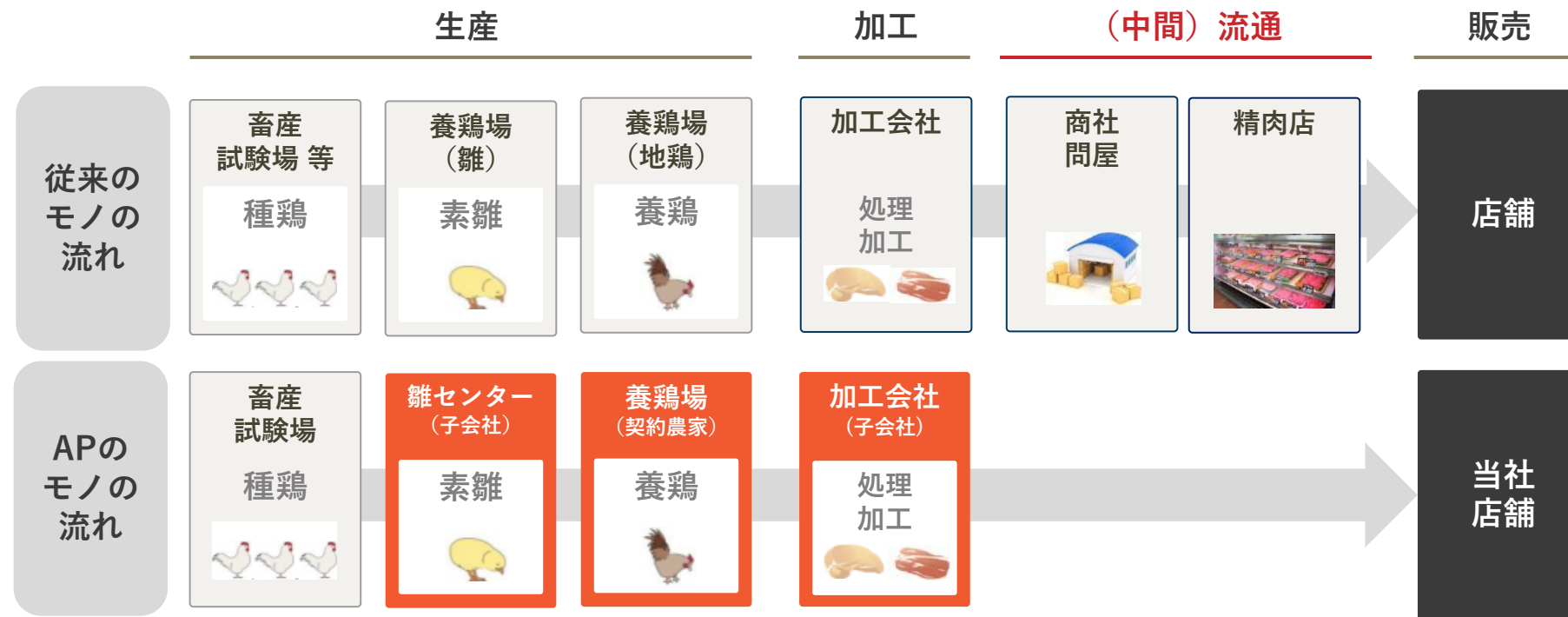
生産から流通、販売に至るまで、一貫して手がける独自の『生販直結』という六次産業化モデルを展開し、食産業全体に寄与するALL-WINを実現



2. 当社の強み ～六次産業化モデル（2）

従来の商習慣に囚われず、生産・加工・流通・販売を全て自社で行うことで、高品質な食材を適正な価格で消費者に届けることが可能に

塚田農場 地鶏モデルの生産から販売まで

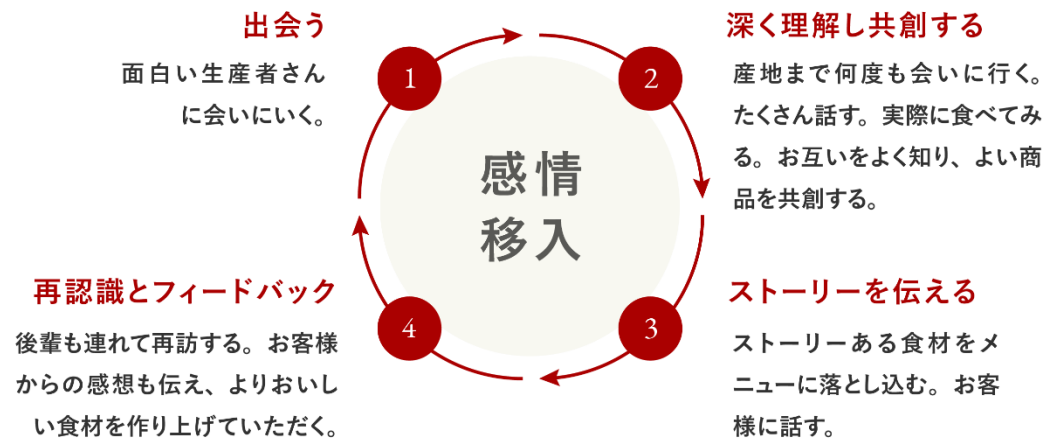


「塚田農場」の地鶏は、自社で地鶏のヒナをかえし、現地契約農家が育成。それを当社が買い取り、自社センターで加工してお店に届きます。通常ならこの過程で何社も介すところを、当社は2006年から一貫で対応する仕組みを構築しているため、おいしく価値ある地鶏を安価に提供することができています。

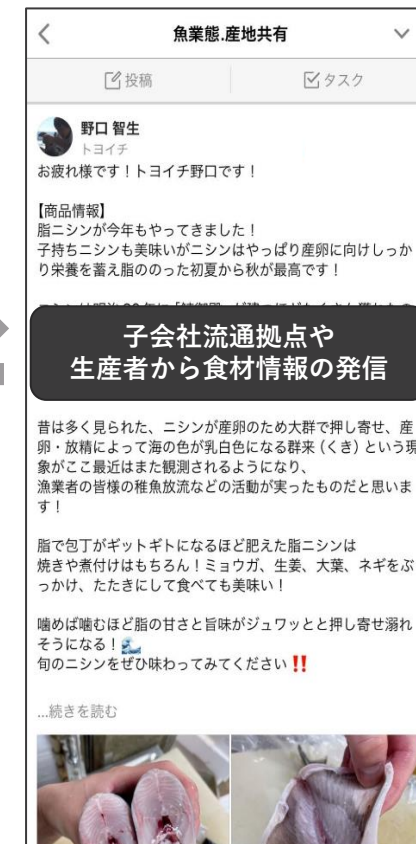
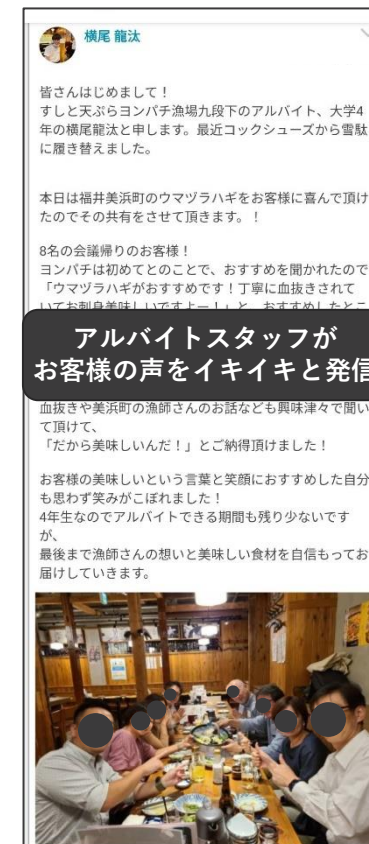
3. 当社の強み ～独自の感情移入文化サイクル

産地と店舗が深い関係を構築しながら情報交流を重ねることで双方の熱量が増幅、商品の価値向上や社会貢献性の高いサイクルを構築

産地への深い理解から生まれる感情移入文化サイクル



社内SNSを活用し生産者と店舗が濃密な情報交流
～コロナ禍で一時中断していたものを再活性化～



4. ブランド展開

		セグメント	店舗数	前期末比	主な展開ブランド
国内		居酒屋	65店舗 (37%)	-1	塚田農場 北海道十勝 新得町 塚田農場 TSUKADA FARM HOKKAIDO TORACHI SHINGETOCHO 農塚田 YAKITORI OGIYAMA NOJO 炭火焼鳥 YAKITORI TORIYA 農塚田鶏屋 TSUKADA NOJO 日南館
		専門店	49店舗 (28%)	+2	魚貝専門 佐野直結 四十八漁場 日本橋 墨江堂 YAKITORI KI CHO 希鳥 やきとり スタンダード YAKITORI 1010140 芝浦食肉 焼肉カロス 焼鳥のつくり
		レストラン	25店舗 (14%)	+4	文 錦 表の山の木の子 URANO YAMANO KINGO かだ Na Camo Guro 串亭 立ち寿司横丁 立 錦 すし横 STANDING SUSHI
		ライセンス	20店舗 (11%)	± 0	旭地日 宮崎県日南市 びとっこ組合
		海外	18店舗 (10%)	-2	美人鍋 BIJIN NABE うぐいす YAKITORI KI CHO 希鳥 nojo TORIKI 焼鳥
		合計	177店舗	+3	

※2025年1月末時点

【ご注意事項】

本資料に記載された株式会社エー・ピーホールディングスの計画、予想、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、資料作成時点において入手可能な情報および株式会社エー・ピーホールディングスの経営者の判断に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

実際の業績は、経済動向、市場環境等によりこれらの計画、予想数値と大きく異なる場合がございます。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、本資料は株主、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

【お問い合わせ先】

株式会社エー・ピーホールディングス 経営企画・IR室 坂上・武田 / 財務部 加藤 / 広報 野澤

TEL：03-6435-8440 / FAX：03-6435-8441

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-10-1 ISOビル5F